

臨床病理検討会開催要項

当院では不定期ですが CPC を開催しています。研修医諸君には参加が義務付けられています。CPC では臨床症例呈示と病理報告を各々研修医 1 名が担当します。

研修医諸君は剖検時当番で呼ばれた場合、原則としてその患者の病理担当となってください。病理担当研修医は臨床情報の概略を把握し、剖検検体固定後「マクロ写真撮影と標本切り出し」を病理指導医とともに行います。このとき肉眼所見をとり記録します。後日標本ができたなら病理医師の指導のもと鏡検して組織所見をまとめます。CPC の日程が決まったら、臨床担当研修医と打ち合わせて CPC に臨みます。

2 年間に CPC 報告書を 1 例以上作成することが義務付けられています。臨床担当と病理担当の 2 名の研修医で 1 例の剖検報告書を作成してください。

研修医の病理診断科研修について

執筆責任者（病理診断科：石川操）

目次

臨床研修必須事項.....	1
およその予定.....	1
病理解剖立ち会いについて.....	1
CPC 日時について.....	2
CPC 開催までの流れ.....	2
CPC 全体の流れ.....	2
CPC レポート作成について.....	3
内科認定医の病理レポートについて.....	3

平成 29 年 3 月 作成

平成 30 年 3 月 訂正

令和元年 7 月 修正

臨床研修必須事項

1. 病理解剖立ち会い 1 例
2. CPC (clinico-pathological conference) での臨床経過のプレゼンテーションスライド作成と発表 1 例

3. 2. で行った CPC のレポート作成

1. と 2-3. はなるべく同じ症例にするように配慮していますが、異なる場合もあります。

*CPC 出席も研修の一環です。できるだけ参加してください。

およその予定

解剖立ち会い（一年次）→病理解剖報告書完成（一年次後半から二年次）→CPC 開催（二年次）→レポート締め切り（二年次 1 月）

病理解剖（剖検）立ち会いについて

1. 担当患者またはローテーション科内で剖検となった例があった場合は、担当医とともに参加してください。

2. 剖検録には、剖検の立ち会い者として名前を記載してください。重要です。

*2 年次の剖検立ち会い未経験者には、積極的に病理診断科から連絡します。該当者間で調整の上、剖検に参加してください。

*チャンスを逃さないように注意してください。

CPC 日時について

毎月第三金曜日、16 時から医局内カンファレンス室にて行います。

調整が難しい場合は、第三木曜日、第一金曜日、第一木曜日のいずれかの日程で調整します。

CPC 開催までの流れ

1. CPC 症例の病理解剖報告書完成が院内メールにて伝えられます。

2. 教育研修課とともに開催日を決定します。

数ヶ月後の第三金曜日を優先します。その他、第三木曜日、第一金曜日、第一木曜日の日程も可能です。

3. 「CPC 開催のお知らせ」が院内 web に掲載されます。開催場所、時間、仮の症例タイトル、担当臨床医・病理医名、が掲載されます。

4. 入院から死亡までの経過を、一般的な内科症例報告のスタイルでパワーポイントファイルに作成してください。担当医のチェックを受けてください。

「病理解剖の目的」としたスライドを経過の最後に作成してください。病理医のチェックは必要ありません。発表当日は電子カルテ端末を用います。

5. 「CPC 開催のお知らせ」が再度院内 web に掲載されます。開催場所、時間、仮の症例タイトル、担当臨床医・病理医名、が掲載されます。

*過去の CPC 症例ファイルは、共有フォルダ > 五竜会 > 検査 > 16・病理 > CPC 内にあります。

*1 件の CPC を研修医 2 名が担当します。当日のプレゼンテーションも必須事項です。適宜

分担してください。

CPC 当日の流れ

1. 研修医 2 名、担当医 1 名、病理医 1-2 名、病理検査技師 1 名、教育研修課事務員 1 名により開催されます。
2. 発表担当研修医は当日 10 分前に会場に到着し、準備してください。
3. 発表者・出席者は名簿に記名してください。
4. 電子カルテ端末を用いてプレゼンテーションが行われます。
5. 研修医が臨床経過を発表します。適宜質問の時間があります。
6. 病理医が解剖結果を発表します。適宜質問の時間があります。
7. 全体を通したディスカッションが行われます。
8. 研修医のプレゼンテーションファイルは、共有フォルダ > 五竜会 > 検査 > 16. 病理 > CPC の部門フォルダに提出してください。

*参加者 10 名程度の会です。

CPC レポート作成について

1. CPC で担当した症例について、臨床経過、剖検診断、考察、としてまとめてください。
2. 指導医資格のある病理医または担当医のチェックを受けてください。

*締め切り直前は混み合うため、柔軟に対応できない場合がありますのでご注意ください。

内科認定医のレポートについて

内科認定医取得を考えている研修医向けのお知らせです。

- ・内科認定医受験時に病理解剖となった症例のレポート提出があります。
- ・研修医時の経験症例や解剖に立ち会った症例を提出することがありますので留意してください。
- ・実際に内科認定医受験レポートとして提出する場合は、その旨を病理診断科に伝えてください。病理解剖報告書の書面が必要な場合も申し出てください。
- ・病理からレポートを受け取ったら、依頼医あるいは立会者として自分の名前が記載されていることを確認してください。